



明日香運送(株)から田原本町に「企業版ふるさと納税」として100万円が寄附されました。寄附金については、ICTを活用した健康ポイント事業などの実施による、ヘルスケアプロジェクトの取り組みに使わせていただきます。

3/30

「健全な」まちづくり事業に
明日香運送(株)が田原本町へ寄附



万葉創作画家の奥山永見古さんから、万葉絵合わせカルタ50セットを町へ寄贈していただきました。奥山さんは「町の子どもたちに万葉に触れる機会としてカルタ遊びをしてほしい」と述べられました。寄贈を受けたカルタは、町内の子どもたちの教育のために使用される予定です。

3/19

万葉に触れる機会を
万葉絵合わせカルタを町へ寄贈



入学シーズンの4月。小学校では281人が、中学校では248人が入学式を、幼稚園では94人が入園式を迎えました。

田原本小学校では、新入生96人が1人ずつ名前を呼ばれ元気に返事をしました。また、校長先生からのお祝いの言葉を受けました。

4/7

新生活をスタート
入学式



令和元年度明るい選挙啓発ポスター作品の、公益財団法人明るい選挙推進協会会長・都道府県選挙管理委員会連合会会長賞に、上田真大さん(田原本中2年)の作品が入賞しました。上田さんは「選挙に行かない人が、自分のポスターを見て行くきっかけになったら嬉しい」と話しました。

3/24

選挙に行こう
令和元年度明るい選挙ポスター入賞



◀町地域婦人団体連絡協議会からマスクが寄贈される

▶稲田布帛工業所からマスクが寄贈される



4月6日に町地域婦人団体連絡協議会からキッチンペーパー製の手作りマスクを900枚、4月7日には稲田布帛工業所から布製のマスク100枚をそれぞれ寄贈していただきました。町内の幼稚園、小・中学校の登校日などに、家庭でマスクが用意できない子どもたちのために大事に使わせていただきます。

4/6・7

子どもたちのために
マスクを寄贈していただきました



▲贈呈の様子と贈呈された防災グッズ



(一財)奈良県交通安全協会と(公財)奈良県防犯協会から「ランドセルカバー、ワッペン、下敷き、啓発チラシ」が町内の各小学校へ寄贈していただきました。

これらの交通安全グッズには、新入学児童が交通事故や犯罪被害に遭わないようにとの思いが込められています。

3/26

被害に遭わないように
交通安全・犯罪被害防止グッズの寄贈

もくぞうおおのやすまろしんぞう

「木造太安萬侶神像」を

田原本町の有形文化財に指定



町教育委員会は、町の歴史や文化を理解するうえで重要となる文化財の指定を進めています。

今回、町文化財保護審議会の答申を受け、多神社が所有する太安萬侶の神像を有形文化財に指定しました。これで町の指定文化財は7件で、神像の指定は初めてとなります。

今月号では、この神像の概要を紹介します。

図 文化財保存課 保存活用係（唐古・鍵考古学ミュージアム） ☎ 34-7100

木造太安萬侶神像 1 軀

種別	有形文化財（彫刻）
所在地	田原本町大字多 569
所有者	多神社
像高	47.5 cm
時代	室町時代
指定年月日	令和2年3月10日

拝観 多神社（☎ 33-2155）へ、直接お問い合わせください。

概要

本像は、かつて多神社の第二殿にまつられていた太安萬侶の神像と伝わるものです。左手は笏しやくの下端を握り、右手はその頂に掌を添え、両足裏を合わせて畳座に座る姿をしています。左に折れたえぼし烏帽子を頭かぶに被り、平安時代以降の朝廷男子の正服であった束帯そくたい風の衣服を着ています。

太安萬侶は「古事記」（和銅5年（712）成立）の編纂者で、歴史上著名な奈良時代の官人です。後世、彼が多氏の祖先神として神格化される段階で、本像が造られたと考えられます。

吊り上がった眉や閉じた口、短い顎髭あごひげなど精彩ある顔つきです。体は厚みがあり、両袖の先端が強く跳ね上がらない表現や、構造技法の特色から、製作は室町時代（15～16世紀）と推測されます。

全国的な視野からみても、神像彫刻の歴史は実態が不明なところが多く、奈良県下においても所在調査があまり進んでいません。そのような中で、本像は神格化された太安萬侶の神像として中世美術史の展開を考えるうえで重要であり、また地域史の視点からも注目すべきものです。